

令和元年第2回市議会定例会 一般質問通告概要一覧

日 時	人 数
令和元年6月17日（月）午前10時～	7人（1番から7番まで）
令和元年6月18日（火）午前10時～	6人（8番から13番まで）

質 問 位 順 位	議 席 号 番 号	会 派 名	通 告 者 氏 名	抽 選 号 番 号	種 別
1番	16	市 民 ク ラ ブ	昌 浦 泰 己	3	一問一答
2番	1	日 本 共 産 党	中 田 定 行	4	一問一答
3番	2	日 本 共 産 党	戸 津 川 晴 美	7	一問一答
4番	11	公 明 党	阿 部 正 幸	8	一問一答
5番	14	民 政 ク ラ ブ	雨 森 修 一	9	総括質問
6番	9	日 本 共 産 党	佐 藤 恵 子	10	総括質問
7番	10	自 由 民 主 党	森 長 一 郎	11	一問一答
8番	4	自 由 民 主 党	鈴 木 新 津 男	12	一問一答
9番	13	公 明 党	根 本 朝 栄	13	総括質問
10番	15	自 由 民 主 党	吉 田 瑞 生	14	一問一答
11番	3	自 由 民 主 党	佐 藤 雅 博	15	総括質問
12番	12	公 明 党	齋 藤 裕 子	16	一問一答
13番	8	日 本 共 産 党	藤 原 益 栄	18	一問一答

計 13 名

総括質問方式： 4 名
一問一答方式： 9 名

質問順	受付月日	5. 31	通告者	16番	昌浦泰巳	
1番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 災害から災害弱者を守るために</p> <p>(1) 本市の避難所運営マニュアルでは、子どもと女性に対する配慮はどのようにしていますか。</p> <p>(2) 子ども連れ、特に乳幼児を連れての避難所生活で特に困難を感じることは何だとお考えでしょうか。</p> <p>(3) 高齢者の避難所生活にて特に配慮すべきは何でしょうか。</p> <p>(4) 車中泊者に対しての配慮はお考えでしょうか。</p> <p>(5) 多くの住民が避難所生活となるレベルの災害時、避難所運営には女性の運営管理者を選任すべきと思いますが、市はどうお考えですか。</p>						

質問順	受付月日	6. 3	通告者	1番	中田定行	
2番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 国保税の引き下げについて</p> <p>(1) 平成30年度末の国民健康保険財政調整基金残高は、10億8,184万円となる見込みです。この基金を使い、高すぎる国保税を引き下げるべきだと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(2) 子育て支援の立場から、18歳までの子どもに係る国保税均等割りを、一般財源を投入して減免することが必要だと思いますが、市長の考えを伺います。</p> <p>2. 市道の整備について</p> <p>志引団地の清水沢多賀城線西側に位置する住宅地を通る市道が行き止まり状態になっており、災害時などの緊急事態の対応に困難を生じる恐れがあります。緊急避難路・物流路として現在整備中の清水沢多賀城線の供用開始までに、浮島雨水ポンプ場わきの通路を市道として整備し、行き止まりをなくし、地元住民の不安を解消すべきだと考えますが、市長の考えを伺います。</p>						

質問順	受付月日	6.3	通告者	2番	戸津川 晴美	
3番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	一問一答

1. 難聴支援策の拡充

- (1) 障害者手帳を持たない、中等度難聴（聴力レベル40デシベル以上）の高齢者にも補聴器購入への補助が必要と考えますが、いかがですか。
- (2) 難聴者に配慮し、文化センター等の公共施設に磁気ループの整備を進めるよう求めますが、いかがですか。

2. 原発とエネルギー

- (1) 事故発生時の石巻市からの避難者約6,500人の受け入れ体制について、整備状況を伺います。
- (2) 複合被害等により、本市市民も避難が必要という状況になった場合の対応について伺います。
- (3) 原発から再生可能エネルギーへの転換が求められていると思いますが、市長の所見を伺います。

質問順	受付月日	6. 3	通告者	11番	阿部正幸	
4番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 小学生へ通学用ヘルメットの配布と着用の推進について</p> <p>滋賀県大津市で発生した保育園児らを巻き込む交通死傷事故や通学する小学生の列に車がぶつかる事故が発生している中で、子どもの命を交通事故や災害などの危険から守ることが大切です。</p> <p>茨城県牛久市では、市内全小学生へ通学用ヘルメットを無償配布しています。このヘルメットは、260グラムの軽量で、児童への負担を軽減し、熱中症にならないよう通気性のよいものを選んでいきます。</p> <p>登下校時に子どもの列に車が突っ込み児童の命が奪われている事故が相次いでいることから、子どもの命を守るため、本市の小学生へ通学用のヘルメットの配布と着用を推進してはいかがでしょうか。</p> <p>2. 老朽化している歩道橋の点検および整備について</p> <p>国道45号線に設置している歩道橋の中には、老朽化しており安全性に不安がある声が寄せられています。</p> <p>管理をしている国等へ歩道橋の点検や整備を要望し、不安なく利用できるようにしていただきたい。</p> <p>3. 多賀城市文化センター小ホールの整備について</p> <p>多賀城市障害者計画の基本理念に「すべての方々が、障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合い、共に安心して暮らせる社会を実現するため、『地域での共生社会をめざして』を本計画の基本理念とします」とあります。多賀城市文化センター小ホール利用者から、車椅子を使用している方がステージで発表出来るように整備していただきたい。</p> <p>4. 左折表示の整備および左折標識の設置について</p> <p>「市道明月5号線」から「市道工場西1号線」のT字路にありました左折表示が、東日本大震災の津波によって流され、現在は表示がありません。そのため、右折する車があり、「県道塩釜亘理線」から「市道工場西1号線」に進入する車と正面衝突になる危険な状況があります。以前に設置してありました左折表示の整備および左折標識を設置していただきたい。</p>						

質問順	受付月日	6. 3	通告者	14番	雨森修一
5番	答弁者	教育長	発言時間	30分	種別
総括					
<p>1. 多賀城市立中学校の部活動に係る活動方針について</p> <p>多賀城市立中学校に於ける今後の部活動方針について伺います。</p> <p>多賀城村立多賀城中学校は昭和22年4月に開校（設立）、昭和51年4月多賀城市立第二中学校が開校、昭和62年4月市立東豊中学校、平成7年市立高崎中学各校が開校し今日に至っています。多賀城中学校におきましては、昭和61年（32年前）生徒数は1681名、その後東豊中学校、高崎中学校2校の開校により多賀城中学校の総生徒数は、令和元年（5月1日）442名であります。</p> <p>各中学校、生徒数の今後の減少が予測される中で団体部活又は個人による部活動についての検討についてのお考えを伺います。</p> <p>部の新設については、希望者の意向を確認し、最終的には校長先生の判断にまかせるとなっています。多賀城第二中学校の弓道部新設のための弓道場の建設について数回質問いたしました。将来的には建設したいとのご回答いただいておりますが、再度ご答弁願います。</p>					

質問順	受付月日	6. 3	通告者	9番	佐藤 恵子	
6番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	総括
<p>1. 中高年のひきこもり、いわゆる8050問題について</p> <p>(1) 内閣府が初めて中高年のひきこもりの実態調査を行い、全国で61万人（推計）にのぼるという数字を発表し、あらためて深刻な社会問題として受けとめられている。この調査の結果について市としてどのような認識をもっているのか、伺います。</p> <p>(2) この調査は、全国で40歳から64歳までの本人5000人を対象にしたものであり、東北での人口10万未満の市の調査地点はわずか5カ所にすぎない。市内の中高年のひきこもりの実態を把握するために、市として独自に調査をおこなうべきと考えますが如何ですか。</p> <p>(3) 今回の調査では中高年のひきこもりは、様々な問題が複雑にからみあっていることが明らかになった。従来の対策を検証し、社会福祉や精神保健など各専門分野がかかわった総合的な支援体制の構築が求められている。県ひきこもり地域支援センターとの連携を強化し、市としても専門の人員配置を強化し、相談・支援体制を充実していくべきと思うが如何ですか。</p> <p>2. 災害公営住宅における収入超過者の家賃軽減について</p> <p>収入基準がオーバーし、家賃が上がり退去せざるを得ないという声が出ています。復興需要に伴う建築コストの高騰が家賃上昇の要因となっている。他の自治体で実施している例を参考にし、割増し家賃の一定期間の据え置きや独自に収入超過基準を引き上げるなどして、入居者が急激な負担増にならないよう対策を講じては如何ですか。</p>						

質問順	受付月日	6. 3	通告者	10番	森 長 一 郎
7番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	種 別
					一問一答
<p>1. 第六次多賀城市総合計画策定について</p> <p>5月28日の全員協議会で、第六次多賀城市総合計画策定に係るスケジュール等について説明があったが、未来の多賀城に向けて「未来の大人たち」である子どもたちからも意見を聞くべきと思うが、当局の考えを伺う。</p> <p>2. 子育て支援について</p> <p>保育所利用調整の指数を改善し、兄弟姉妹が同じ施設を利用できる様に願いたい。現状と対応を伺う。</p> <p>3. 入管法の改正について</p> <p>入管法の改正により、外国人労働者の流入拡大が予想される。外国人の不正な住民登録を防止し、真の居住者の利益を守り、共生を育みたい。以下、対応を伺う。</p> <p>(1) 市役所窓口での外国人申請時の確認事項と外国語対応。</p> <p>(2) 県警や出入国在留管理庁との連携。</p> <p>(3) 近隣住民とのトラブル防止。</p> <p>4. 「再犯防止計画」策定について</p> <p>「再犯防止推進法」の施行に伴い、宮城県では、令和元年度末を目指して「宮城県再犯防止計画」策定に取り組んでおり、仙台市では、令和2年度末を目指し「仙台市再犯防止計画」策定に取り組んでいる。多賀城市においての「多賀城市再犯防止計画」について、市長の対応を伺う。</p>					

質問順	受付月日	5.31	通告者	4番	鈴木新津男	
8番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 高橋近隣公園の造成について</p> <p>高橋近隣公園の造成は、高橋雨水幹線の完成後に造成を行う計画ですが、その後の進捗状況を示していただきたい。</p> <p>2. 政庁南門周辺整備計画について</p> <p>多賀城創建1300年に向けて政庁南面は、宮城県と本市との役割分担の下に、整備また、計画されているが、一方北側は、手付かずの状態になっています。加瀬沼に至る遊歩道と周辺整備の計画をうかがいます。</p> <p>3. 多賀城市観光協会のキャラクターたがもんについて</p> <p>(1) たがもんは観光協会のホームページリニューアルに合わせて考えられ、平成27年6月27日あやめ祭りで誕生し、各方面で活躍されています。【たがもん】は本市にとってどのような位置づけなのでしょう。</p> <p>(2) 本市として【たがもん】をどのように活用していく方針でいるのか、うかがいます。</p>						

質問順	受付月日	6. 3	通告者	13番	根本朝栄
9番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 災害公営住宅等の共益費について</p> <p>災害公営住宅の共益費については、入居当初は自治会が発足していないため宮城県住宅供給公社で家賃と一緒に集金をしていましたが、その後は自治会で集金をしています。しかし、災害公営住宅の入居者は高齢化率が高く役員のなり手不足に加え、未納の方の対応にも苦慮されており、自治会活動にも支障をきたしているところもあります。</p> <p>平成30年12月10日には、住宅供給公社の業務に家賃と一緒に共益費も集金するよう求める陳情書が、災害公営住宅4団地の自治会会長の連名で出されています。</p> <p>このような問題は既存の市営住宅でも考えられることから、今後どのように対応するのか伺います。</p> <p>2. 公営墓地「蓮沼苑」の増設と募集方法について</p> <p>本市では公営墓地がないため、七ヶ浜町にお願いしてこれまで850基を譲り受け、市民の皆様に譲渡しています。しかし、残りが少なくなっているうえ、高齢者の皆様が自らの終活として墓地を求めておきたいとの声も多く寄せられています。</p> <p>そこで、再度、七ヶ浜町に譲渡をお願いするとともに、お骨がなくても購入できる「一般募集」をして、高齢者の皆様の終活のサポートをしてはいかがでしょうか。</p> <p>3. 本市の定住策について</p> <p>塩釜市や大和町などの自治体では、人口減少に対応し若い世代の定住と地域活力の維持を図るため、「子育て家庭と三世代同居近居住宅取得支援事業」を創設し、定住策を実施しております。</p> <p>また、移住者が(独)住宅金融支援機構の「フラット35」地域活性化型事業を利用する場合には、当初5年間の借入金利を、年利0.25%引き下げる優遇が受けられるよう、住宅金融支援機構と協定を締結しており、移住する方には大変使い勝手の良い制度になっています。</p> <p>本市においては、現在、人口減少の影響が少ないものの、今の内に、将来を見据えた対策を取ることは大変重要と認識することから、この事業の実施について市長の見解を伺います。</p>					

質問順	受付月日	5. 31	通告者	15番	吉田瑞生
10番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 国の重要文化財である多賀城碑(国名勝・日本遺産)を国宝の指定に建議することについて</p> <p>多賀城碑に明記されている神亀元年(724年)に多賀城が創建されたことを基礎に、多賀城創建1300年(令和6年・2024年)事業として多賀城外郭南門復元等に取り組まれているこの機会に、多賀城市教育委員会編集・発行の「重要文化財多賀城碑」に記されているとおり、「多賀城碑には、多賀城と古代東北の解明にとって重要な記載があり、また数少ない奈良時代の金石文(きんせきぶん)として貴重である」としていることに鑑み、多賀城創建1300年に向けて多賀城碑を国宝に指定を図ることについて</p>					

質問順	受付月日	6. 3	通告者	3番	佐藤雅博
11番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 地方公務員法改正に伴う交通安全指導隊の対応について</p> <p>(1) 交通安全指導隊は今回の制度改正で非常勤特別職の身分を失い、会計年度任用職員として活動してもらう事が望ましいと考えますが、当局はどの様に考えているのか伺います。</p> <p>(2) 会計年度任用職員となったとして、活動報酬は時間給に変わり、支給される額は大きく減少する事が想定されます。その様な中、時間給対応策、または代案を示すのか、現段階での考えを伺います。</p> <p>(3) 制度改正に向け、説明と意見交換を行っているところだと思いますが、これまでの交通安全指導隊の役割、活動をどの様に理解し評価しているのか、また、今後の役割、活動をどの様に想定しているのか伺います。</p> <p>2. 特別史跡多賀城跡周辺の国営公園化について</p> <p>特別史跡多賀城跡は、国営公園に指定される必要十分な要件を備えていると思います。加瀬沼公園、中央公園を含め、多賀城歴史公園として国へ働きかけ要望活動に着手すべき時期と考えますが、市長のご所見を伺います。</p>					

質問順	受付月日	6. 3	通告者	12番	齋藤裕子	
12番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答

1. SDGsの取り組みについて

国連の「持続可能な開発目標」であるSDGsが2016年1月からスタートしています。「誰一人取り残さない」との理念を掲げ、国際目標として2030年までに達成する17の目標が示され、地方自治体や民間企業に、その理念を施策や事業に取り入れる動きが高まっております。

持続可能なまちづくりを実現する上で、以下の2点伺います。

- (1) 本市のSDGs推進への考えと、現在の取り組みについて
- (2) 本市の次期総合計画に「SDGs」の理念を取り入れる考えについて

2. エンディングサポート（終活支援）について

超高齢社会、核家族化の近年、高齢者が元気で判断能力のあるうちに、終末期の介護や医療に備えた要望や、これまでの自身の人生を書き残せるエンディングノートが注目されています。これを終活支援に、独自で作成し無料で配布し、活用している自治体が増えております。エンディングノートは、最後まで自分らしく生きるために書き残し、家族や知人と事前に思いを共有し、死後の混乱や、高齢者の孤立を防ぐことが期待されています。そこで、本市としてもエンディングノートの作成と活用を推進すべきと考えますが、お考えをお伺いします。

3. 「お悔やみコーナー」窓口の設置について

親族が亡くなり、遺族にとって葬儀後の手続きは、保険、年金、税金、財産と、個人によって様々手続きがあります。何度も市役所を訪れる状況があり、特に高齢者の方は大変だとの声をいただいております。複雑な手続きをわかりやすく、スムーズに行えるワンストップの窓口が必要と考えます。遺族に寄り添い、手続きを支援する「おくやみコーナー」窓口の設置についてのお考えを伺います。

4. 歩道の安全確保について

今後更に進む高齢社会の中で、道路の安全対策は重要と考えます。丸山1丁目付近から笠神新橋に向かって大きなカーブもある八幡下馬線は、一級市道で交通量も多く、事故の危険性が高いと感じております。東北管区警察学校側区間は、路側帯のみの歩道なために、歩行者が車との接触事故の危険も高い状況です。歩車道を分離する境界ブロック等の設置をするなどの対策と、両側の歩

道の拡幅と整備を行い、歩行者の安全安心の確保を図るべきと考えますが、市長の見解を伺います。

質問順	受付月日	6. 3	通告者	8番	藤原益栄	
13番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	一問一答
1. 南北大路の整備について						
(1) 南北大路と市道新田浮島線・市道水入線の平面交差について、第1回定例会で取り上げたところ、市長および教育長は「文化庁に相談に行ってくる」と答弁した。その後の経過について説明されたい。						
(2) 今後の見通しについて説明されたい。						
2. 多賀城創建1300年事業成功にむけて						
(1) 多賀城創建1300年は宮城県1300年でもあり、ともに取り組んでいただく必要がある。その立場から県との協議は始められたか。また今後の方針について示されたい。						
(2) 古代東北に限定しても多賀城関連遺跡をもつ自治体は、酒田市(城輪柵跡)、秋田市(秋田城跡)、大仙市(弘田柵跡)、盛岡市(志波城跡)、矢巾町(徳丹城跡)、奥州市(胆沢城跡)、栗原市(伊治城跡)、石巻市(桃生城)、仙台市(郡山遺跡、陸奥国分寺・尼寺)、白河市(白河関跡)、いわき市(菊田関所在)等があげられ、地域と時代、万葉・『おくのほそ道』など文学にまで広げればさらに関連自治体は増加する。これらの自治体と協力関係を構築するためには早めに協議を始めることが必要と考える。市長の認識を問う。						
(3) 多賀城創建1300年といった場合、中世・近世・現代まで視野にいれ取り組むことが必要と思うが市長の見解を問う。						